

< (表) 補助対象事業 >

分野	番号	補助対象事業
子育て	1	子どもや地域を通じて保護者の交流のきっかけを作る取組
	2	地域の企業と連携し、大学が持つシンクタンク機能を活かした「子育て環境日本一」の実現に寄与する取組
	3	子どもが文化芸術に親しむ取組や、大学生と自然科学等に触れながら交流する「地域の子育て応援プロジェクト」の取組を展開することにより、子どもの豊かな情操教育や将来の夢や希望を育む機会を創出するとともに、大学生が子育てへの夢や希望を育む意識を醸成する取組
商店街	4	商店街関係者と商店街に関心がある大学生やU I J ターンの若者が、互いの知識やアイデアをもって連携し、商店街運営や地域課題を解決するための取組
	5	デジタルネイティブ世代である学生と連携した商店街のDX推進（SNS活用などの情報発信力強化等）の取組
観光 (交流)	6	京都府域において、地域資源を活用して大学生が自ら実現したい持続的な交流を促進する新たな取組
	7	2025年大阪・関西万博の開催や文化庁京都移転を契機とした京都府域における新たな観光コンテンツを創出する取組
	8	大学生が地域の観光資源に触れ、地域の人との交流の機会をもつことで地域の魅力を感じるとともに、その魅力を同世代の大学生に共有する取組
	9	山陰海岸ジオパークや自然公園等の自然風景地を保全し、ガイドツアーやビジターセンター等により地域の魅力を発信することで利活用を進める取組
防災・防犯	10	様々なコミュニティを活用した新しい視点での防犯活動の仕組みを提案する取組
	11	犯罪被害者等支援について、府民全体が理解を深めるための様々な世代に対する効果的な広報啓発の取組や、ホンデリング（古本の売却による収益を犯罪被害者支援センターの活動の資金に充てる取組）の活動の拡大を図るための取組
	12	若年者に多い消費者被害について大学生が若年者を対象に情報発信等の啓発活動を行うことで、消費者被害等防止について自ら学ぶとともに消費者教育の担い手になる取組
	13	消防団等と連携した防災啓発活動や、地域のハザードマップ作り、非常食のレビューなど、大学生が主体となって防災啓発活動を行う取組
過疎地域・ 農山村	14	農地等の保全や生活交通等地域基盤の維持のため、地域共同活動の合理化や省力化を進める取組や、収益確保に向けた特産品開発・販売等のビジネスの立ち上げなど、農山漁村地域の維持・活性化を図る取組
	15	農家所得の向上及び食料の安定供給に資する、味噌や日本酒等の府内食品産業と連携した取組
環境	16	地域資源を生かした持続可能なまちづくりを支援し、府内各地にゼロカーボン地域を創出するため、営農型太陽光発電など、地域課題の解決や経営支援につながる再エネ導入のモデル地区形成を支援し、府内各地へ展開する取組
	17	3R技術を活用した廃棄物の再生利用など、産学公連携によるゼロエミッションを推進するため、3Rセンターの研究・開発支援制度や体制を拡充・強化するとともに、プラスチックごみの3R施設の整備、代替プラスチック製品や3Rが容易な製品の開発・普及を支援する取組
	18	府内の生物多様性に係る保全活動を支援する取組
丹後	19	京都府移住の促進及び移住者等の活躍の推進に関する条例に基づく「移住促進特別区域」の拡大を図るとともに、移住者や関係人口が住民とともに地域社会の担い手として活躍できる地域づくりを推進する取組

	20	京都市からさらに丹後に足を向けてもらうための旅行商品の造成や仕組みづくりなどにより誘客を推進する取組
	21	地域の観光関係者、旅行会社やメディアと構築したネットワークを活用し、「文化」や「食」などの京都の魅力あるコンテンツを継続的に情報発信する取組
	22	(丹後ちりめんの) 人材確保につなげる織物産地の魅力発信や人材の受入れを支援する取組
中丹	23	交流等を通じて地域のファンを拡大し、地域外住民による「地域応援団」の形成を図るための取組
	24	農業体験や山遊び体験、地引き網体験、クラフト体験（和紙、漆工芸等）など、農山漁村の資源を利活用する交流体験プログラムをパッケージ化し、誘客促進を図る取組
	25	小学校・中学校・高等学校等と連携し、ふるさと教育が円滑に進められる支援体制を構築する取組
南丹	26	担い手が不足し今後の営農が危ぶまれる地域農業の維持・発展のため、集落営農組織や農企業者等が取り組む加工・販売や法人化の支援を進めるとともに、複数集落間の営農体制の組織化や就業者の育成・確保を支援する取組
	27	イベントやメディアを通じた京都丹波のスイーツやグルメの地域内外への情報発信により、いちおし食材等を魅力ある観光コンテンツとして育成し、京都丹波への「食」を目的とした観光誘客を促進することで、「地元での消費拡大」を進める「食の京都」を推進する取組
山城	28	学力向上に向けた校種間連携の充実や、大学生等ボランティアによる児童生徒に応じたきめ細かな学習支援を推進するとともに、子どもが大学生と文化芸術や自然科学等に触れながら交流する取組を展開し、子どもの豊かな情操教育や将来の夢や希望を育む機会を創出し、大学生が子育てへの夢や希望を育む意識を醸成する取組
	29	「お茶と宇治のまち歴史公園（愛称：茶づな）」やリニューアルした宇治公園等における観光周遊につながる取組を実施することにより、「宇治茶」をキーワードに山城地域全体に効果が波及する取組
	30	大学が市町村、地域住民、企業、商店街等と連携・協働して取り組む地域づくり等を支援する取組
	31	親子が集い、子どもが安心して遊べる公園・広場等の居場所づくり等により、市町村の子育てにやさしいまちづくりを支援する取組
	32	コロナ禍によりアウトドア活動が注目を浴びる中、木津川や高山ダム湖等において豊かな自然を活用した新たな体験観光を掘り起こし、「京都市きづ川アクティビティキャンペーン」の開催等により都市部から多くの交流人口を呼び込むとともに、持続可能な収益事業へ展開するため、地域団体に軸足を置いたアクティビティ事業の担い手育成の支援や活躍の場づくりを進め、地域の雇用と消費の拡大を支援する取組
	33	住宅地域や商業地域の高齢化に伴う、空家・空き店舗対策や企業のオフィス等の誘致を市町とともに進める取組